

第 63 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第63回日本神経学会学術大会
大会長 服部 信孝

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2022年5月18日（水）～21日（土）
「幸福100年社会における脳神経内科の展望 ～AI技術との共存に向けて～」をテーマとして、上の日程で開催致します。
2. 学術大会会場：東京国際フォーラム
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
3. 通常事前参加登録：2022年4月18日（月）13:00～2022年5月21日（土）13:00
※事前参加登録、当日参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。
※日本神経学会第19回専門医育成教育セミナー、第19回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」、第9回メディカルスタッフ教育セミナーの事前予約は締め切りました。残席がある場合には、会場にて当日受付を行います。（<https://www.neurology-jp.org/neuro2022/registration/index.html>）
※事前参加登録開始前に、今一度ご自身の会員登録情報のご確認をお願いいたします。
ご所属やご住所、ご連絡先メールアドレスに変更がある場合は、必ず日本神経学会会員マイページにて情報をご修正いただいてから、期間内に事前参加登録を行ってください。
事前参加登録システム上では、会員登録情報の修正は行えませんので、ご注意ください。
4. 参加費

		事前 (4/11 17:00 以前)	事前 (4/18 以降) ・当日
会 員	正会員	15,000 円	18,000 円
	研修医会員 *1	3,000 円	3,000 円
	学生会員 (大学院生) *2	3,000 円	3,000 円
	学生会員 (学部学生) *3	無料	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000 円	3,000 円
	外国人会員	3,000 円	4,000 円
非 会 員 *6	非会員 (医師)	18,000 円	21,000 円
	非会員 (企業)	18,000 円	21,000 円
	非会員 (その他)	18,000 円	21,000 円
	メディカルスタッフ *4	8,000 円	8,000 円
	初期研修医 *5	3,000 円	3,000 円
	大学院生 *5	3,000 円	3,000 円
	海外参加者	5,000 円	6,000 円
	学部学生・日本滞在中の外国人留学生 *3	無料	無料
そ の 他	メディカルスタッフ教育セミナーのみの参加 (5月21日(土))	1,000 円	1,000 円
	全員懇親会 (5月18日(水))	3,000 円	3,000 円
	プログラム・抄録集 *7	4,000 円	4,000 円
	ポケットプログラム (日本語版)	—	1,000 円

- *¹ 2022年5月会期当日の時点で研修医会員としてご入会いただいている初期研修医の方のみ対象となります。
- *² 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金で事前参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。
- *³ 学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、「ID」のご提示が必要です。
- *⁴ 医師以外の医療介護福祉関係者、非会員のメディカルスタッフの方は、「メディカルスタッフ証明書」のご提出が必要です。
 (「メディカルスタッフ証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。書式が2種類ありますが、どちらか可能な一方をご提出ください(両方ご提出いただく必要はありません。))
- *⁵ 非会員の大学院生の方は、「大学院生証明書」のご提出が必要です。
 (「大学院生証明書」は、大会ウェブサイトよりダウンロードしてください。)
 非会員の初期研修医の方は、「初期研修医証明書」のご提出が必要です。
 会期当日の時点において「大学院生」、「初期研修医」であることが条件となりますのでご注意ください。
- *⁶ 非会員の参加費は税込(10%)です。
- *⁷ 学術大会参加費に含まれておりませんので、ご希望の方はお申し込みください。事前送付いたします。事前参加登録の有無にかかわらず、会員には「ポケットプログラム(日本語版のみ)」を事前送付いたします。

5. 演題発表方式について(演題発表者対象)

筆頭演者が国内に居住している一般演題のご発表に関しましては、2022年4月現在、口演発表、ポスター発表共に現地会場でご発表いただく予定です。(誌上での発表は予定していません)ただし、今後の感染症の拡大状況に応じ、臨機応変に対応してまいります。

「COVID-19感染拡大に伴う学会現地不参加の届け」について

動画作成は、バックアップ用、またはポスターショートトーク用であり、現時点においては、全ての国内発表者に現地会場でご発表いただく方針ですが、COVID-19感染症の感染拡大防止対策の観点から、所属施設の基準等の事由により、現地参加が難しい場合には、事務手続き上、「COVID-19感染拡大に伴う学会現地不参加の届け」(ご自身の署名のみでかまいません)をオンライン参加登録サイト<<https://www.neurology-jp.org/neuro2022/abstract/guidelines.html>>より【5月11日(水)までに】アップロードしてください。

現地不参加の場合のご発表方法は以下の通りです。

口 演：提出済みプレコーディング動画の現地放映

ポスター：提出済みプレコーディング(ショートトーク)のオンデマンド配信(5月16日(月)～6月30日(木)予定)に加え、ポスターを会期前(5月13日(金)必着)にて会場指定運送会社(富島海運(株))へ送付、または、印刷代行(有料)を利用(詳細は、https://www.neurology-jp.org/neuro2022/abstract/important_info.htmlをご確認ください)

指定演題：別途運営事務局よりご案内します。

6. 「健康状態申告書」ご提出のお願い(全参加者対象)

すべての現地参加登録者(協賛企業含む)は、会場へのご入場の際、1日ごとに「健康状態申告書」のご提出が必要です。

「各企画のお知らせ」に続くページに掲載しますので、必要部数をコピーしてください。また、参加受付付近ならびに各棟入口に、学術大会参加者専用の検温所を設けます。ご来場の際にはお立ち寄りいただき、検温を受けてください。

7. 託児所

会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、ホームページをご確認ください。(http://www.neurology-jp.org/neuro2022/registration/nursery.html)

8. 宿泊予約

参加者向けの宿泊予約申し込みを受け付けております（2022年5月8日（日）23:59 〆切）。事前参加登録開始後、第63回学術大会ウェブサイト（<https://www.neurology-jp.org/neuro2022/>）の宿泊案内ページよりアクセスしていただき、お問い合わせ・お申し込みくださいますようお願いいたします。

9. お問い合わせ

【大会長校事務局】

順天堂大学大学院医学研究科神経学

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1

【日本神経学会事務局】

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-21 一丸ビル2階

TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931

jsn-secretariat@neurology-jp.org（学術大会担当）

【第63回学術大会運営事務局】※参加登録に関するお問い合わせ

〒102-0075 東京都千代田区三番町2

株式会社コンベンションリンケージ

TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8687

E-mail：reg_neuro2022@c-linkage.co.jp

各種企画のお知らせ

☒…英語セッション

1. 大会長講演 (5月19日 (木) 午後) ☒☒※同時通訳
服部 信孝 (順天堂大学大学院医学研究科神経学)
2. Plenary Lecture (5月19日 (木) 午前) ☒
池上 彰 (ジャーナリスト)
3. Semi-Plenary Lecture (5月19日 (木) 午後) ☒
Eduardo Tolosa (Hospital Clinic of Barcelona, University of Barcelona, Spain)
4. Special Lecture (5月19日 (木) 午後) ☒
Vincenzo Bonifati (Department of Clinical Genetics, Erasmus MC, Netherlands)
5. 第63回日本神経学会学術大会記念講演 (5月20日 (金) 午後)
田中 啓二 (公益財団法人東京都医学総合研究所)
6. 特別講演 01 (5月20日 (金) 午後)
藤原 一男 (福島県立医科大学, 東北大学)
7. 特別講演 02 (5月20日 (金) 午後)
七田 崇 (公益財団法人東京都医学総合研究所)
8. 2020年度学会賞受賞者招待講演 (5月19日 (木) 午後)
2021年度学会賞 (学術研究部門)
石浦 浩之 (東京大学医学部附属病院脳神経内科)
2021年度学会賞 (診療/教育部門)
神田 隆 (山口大学大学院医学系研究科神経内科学)
9. 大会長校企画シンポジウム/Neuroscience Frontier Symposium/ホットトピックス/シンポジウム/
新ガイドライン等
【大会長校企画シンポジウム】
5月18日 (水) 午後
・ Human-Friendly AI Medicine Accelerated by Superstars: Innovation in the next medical system toward Society 5.0 ☒
5月19日 (木) 午後
・ グリア機能のデコーディング—脳の生理と病態の理解を目指して
・ 次世代核酸医薬のサイエンス
5月20日 (金) 午前
・ Blood-brain barrier: a novel therapeutic target for neurological disorders ☒
5月21日 (土) 午前
・ 神経難病のゲノム医療—実現に向けて—
【Neuroscience Frontier Symposium】
5月18日 (水) 午前
・ New insights of epilepsy research ☒
5月18日 (水) 午後
・ Four repeat tau-related neurodegeneration from basic science to bedside—A rapidly evolving field with critical unmet needs ☒

- ・ ALS and beyond: cutting-edge research on motor neuron diseases [E]

5月21日(土) 午前

- ・ The Perspective of Parkinson Disease in A Centenarian Society [E]

【ホットトピックス】

5月18日(水) 午前

- ・ New development in research for risk factors of Alzheimer's disease [E]

- ・ Stroke Oncology ～古くて新しい emerging clinical problem～

5月19日(木) 午前

- ・ Paradigm shift of migraine management [E]

5月19日(木) 午後

- ・ 疾患修飾療法を見据えたアルツハイマー 病の病態基盤について

- ・ Cutting edge of stroke genetics: what to know & what to do [E]

5月20日(金) 午後

- ・ 小児神経疾患の分子機構最前線～成人との懸け橋

- ・ Pathophysiology in immune-mediated neuropathy: Crosstalk between humoral and cell-mediated immunity [E]

- ・ 治ります脳神経内科！：脳神経内科の創薬最前線

- ・ 疾患概念が拡大するタウオパチーの現在

5月21日(土) 午前

- ・ 治療可能な運動失調症～自己免疫性小脳性運動失調症の最近の進歩

- ・ ALS 治療の展望

【シンポジウム】

5月18日(水) 午前

- ・ パーキンソン病の病態：基礎研究はどこまで PD の病態を解明できるのか

5月18日(水) 午後

- ・ 未来を切り開く脳神経科学の新技术

- ・ BMI 技術が可能にする神経疾患治療のパラダイムシフト

- ・ 注目すべき3つのキーワード —COVID 時代のバーンアウト, 厚生労働行政参画, 治療と仕事の両立支援—

- ・ Huntington 病アップデート

- ・ 他学会に学ぶ臨床医会の意義

- ・ 病院医療の先にある神経難病患者の療養を考える～在宅医療に何が出来るか～

5月19日(木) 午前

- ・ Clinical and pathological heterogeneity in multiple system atrophy [E]

- ・ Personalized medicine for ultra-rare disease by nucleic acid drug [E]

- ・ 脊髄関連疾患の診断と病態トピックス

- ・ 脳梗塞再発例に挑む

- ・ 非侵襲的超音波脳刺激の基礎と応用

- ・ ナルコレプシーの病態と合併症

- ・ 脳神経内科医の総合内科診療力：基本領域を目指す脳神経内科に求められること

5月19日(木) 午後

- ・ Frontiers of animal models for neurodegenerative diseases [E]

- ・ Integrated understanding of physiology and imaging based on the genetic dystonia [E]

- ・ ICT を活用した神経難病診療とリハビリテーション

- ・ 神経筋接合部 - 基礎から臨床アップデート -

5月20日(金) 午前

- ・ Autophagy dysfunction in Alzheimer's disease and dementia [E]

- ・ Innovation of non-invasive brain stimulation [E]

- ・ 神経系疾患を対象とする小児-成人移行医療への取り組み：小児診療科医師と成人診療科医師との連携

- ・ 多発性硬化症の個別化医療を考える

- ・ AI を用いた神経筋疾患の診断と遺伝子治療への応用

・ Frontiers of Gene and Cell Therapy ㊦

・ 周回遅れからの脱出

5月20日(金) 午後

・ 21世紀における脳神経内科と精神科の関係を考える

・ DMT時代の認知症診療に求められる次世代画像診断とその背景

・ The future of neuromuscular disease registries-The advent of disease-modifying therapy and patient involvement ㊦

5月21日(土) 午前

・ 新型コロナウイルス COVID-19 感染症とワクチンに関連した神経疾患

・ シンポジウム：脳神経内科医による医師主導治験の最前線

・ 代謝性・遺伝性末梢神経障害治療の最前線

・ 神経遺伝学の最前線～ロングリード, AI から疾患まで～

・ 難病医療提供体制と地域共生～難病法の見直しを見据えて～

【歴史セッション】

5月21日(土) 午前

・ こんなにも面白い神経学の歴史

【新ガイドライン】

5月20日(金) 午前

・ 頭痛の診療ガイドライン 2021

・ 新しいMG/LEMS 診療ガイドライン

10. レクチャーマラソン／教育コース／ International Education Course

【レクチャーマラソン】

5月18日(水) 午後

・ 中嶋秀人(日本大学医学部内科学系神経内科学分野)

「自己免疫性脳炎をめぐる最新トピックス」

・ 宮元伸和(順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科)

「グリアは何をやっている？脳卒中におけるグリアの役割」

5月19日(木) 午前

・ 西川典子(順天堂大学医学部神経学講座)

「明日から使える臨床薬理学からみたLドパ血中濃度とパーキンソン病の best medication」

・ 関島良樹(信州大学医学部脳神経内科, リウマチ・膠原病内科)

「家族性アミロイドポリニューロパチーの新規治療戦略」

5月19日(木) 午後

・ 坂井建雄(順天堂大学保健医療学部)

「日本史における神経学～温故知新に向けて～」

・ 松本理器(神戸大学大学院医学研究科内科学講座脳神経内科学分野)

「分子メカニズムからみたてんかんの治療戦略」

5月20日(金) 午前

・ 星野恭子(瀬川記念小児神経学クリニック小児科)

「子供の不随意運動症～基底核の発達から見た運動障害～」

・ 城倉健(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター脳神経内科)

「"目が回らない"めまい診療の Tips」

5月20日(金) 午後

・ 本田直樹(京都大学理論生物学)

「基礎からわかる数理モデルの考え方」

・ 磯部紀子(九州大学大学院医学研究院神経内科学)

「脊髄炎を診たら何を考えますか？」

5月21日(土) 午前

- ・新井哲明 (筑波大学精神科)
「認知症の精神神経症状を神経病理から理解する」
- ・高尾昌樹 (国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部)
「脳鉄沈着病 アップデート」

【教育コース (一般)】5月18日(水) 午前

- ・Mimicsの神経病理—診断基準と画像で十分ですか?—
- ・どんな中枢神経免疫疾患を疑うときにどんな抗体をどんな方法で測定すればいいか: Expert Opinion
- ・神経疾患における痛みを改めて考える - 新たな概念「痛覚変調性疼痛 (nociplastic pain)」を含めて -

5月18日(水) 午後

- ・症例から学ぶ神経心理学: 神経心理を診断に生かす
- ・ベッカー型筋ジストロフィーおよびジストロフィン変異保有女性の診療上の注意とエビデンス構築の必要性

5月19日(木) 午前

- ・神経内科医が知っておきたい小児神経
- ・今さら聞けない? アルツハイマー病疾患修飾療法の基礎知識

5月19日(木) 午後

- ・アクセプトされる論文の書き方
- ・神経画像が役に立つ二次性頭痛

5月20日(金) 午前

- ・ジストニアを究める
- ・脳梗塞治療の進歩と COVID-19 時代の急性期対応
- ・脳神経内科医も知っておくべき臨床研究に関連する各種規制

5月20日(金) 午後

- ・片頭痛治療を極める
- ・慢性てんかんと critical care の脳波の相違, 特徴, 判読のケーススタディー

5月21日(土) 午前

- ・脳死判定・臓器移植について学ぼう, 語ろう
- ・知っておけば良かった・・・外国人患者さんへの診療 —国際化にむけて—

5月21日(土) 午後

- ・大成功する脳神経内科医の開業
- ・神経遺伝・白熱教室: ゲノム医療時代に向けて身につけておくべきミニマムポイント
- ・脳神経内科診療に役立つ『眠気の診かた』: この症例をどう診るか?

【教育コース (学生・研修医向け)】5月18日(水) 午後

- ・120分でしっかりわかる頭痛診療のオキテ

5月19日(木) 午後

- ・キソから学ぼう筋疾患

5月20日(金) 午後

- ・運動失調ってなんだろう これ運動失調を克服しよう

5月21日(土) 午前

- ・知って得する脳神経超音波~脳神経内科の必須技~

5月21日(土) 午後

- ・初学者のための「症候・病態」から学ぶ臨床神経学

【International Education Course】5月19日(木) 午後

- ・Neuro-ICU and Dedicated Neurocritical Care Team in Neurology

5月20日(金) 午後

- ・Glamping with the Movement Disorder Experts to Keep in Touch with the Coming Era

11. メディカルスタッフポスターセッション (5月20日 (金)・21日 (土))
12. 学生・初期研修医セッション (5月21日 (土))
13. 各種共催セミナー
14. 日本神経学会主催セミナー
 - ・ 第19回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月18日 (水) 午前・21日 (土) 午後)
 - ・ 第19回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月21日 (土) 午後)
 - ・ 第19回専門医育成セミナー (5月18日 (水) 午前・午後)
 - ・ 第9回メディカルスタッフ教育セミナー (5月21日 (土) 午後)

日毎の提出をお願いします。提出日に○をお付けください。

5/17(火)	5/18(水)	5/19(木)	5/20(金)	5/21(土)
---------	---------	---------	---------	---------

健康状態申告書

第 63 回日本神経学会学術大会 に実参加するにあたって、下記を申告します。

1.健康状態の申告内容

ご来場時の状況について、該当する項目に○をお付けください。「はい」が一つでもある場合、会場へのご入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

1) 本日の健康状態について

1-① 37.5 度以上（又は、普段よりも +1 度以上）の発熱がある。	はい	・	いいえ
1-② 咳、鼻水、咽頭痛、息苦しさや倦怠感の症状がある。	はい	・	いいえ
1-③ 「におい」や「あじ」を感じにくい（嗅覚・味覚障害がある）。	はい	・	いいえ

2) 過去 14 日以内の状況・行動について

2-① 新型コロナウイルス感染陽性者と接触したことがあった。	はい	・	いいえ
2-② 上記 1-①、1-②、1-③ の症状があった。 又は、同居している家族等に同様の症状があった。	はい	・	いいえ
2-③ 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航歴または当該国・地域の在住者と濃厚接触があった。	はい	・	いいえ

2.留意事項

留意事項ご確認いただき、同意する場合には（ ）にチェックを記載してください。
チェックがない場合、会場への入場をお断りいたします。

① 申告内容に相違がないことを確認しました。会期中、上記【申告 1】の症状が新たに発生した場合には、直ちに大会事務局に申し出た上、医療機関の受診を受けることに同意します。	() 同意します
② 今後、本学術大会において感染が発見された場合、クラスターを特定する目的のため、関係行政機関との間においてのみ、個人情報共有されることについて同意します。	() 同意します

3.申告者情報

申告者区分 ※該当項目に○をお付けください。	会員・非会員・展示企業・共催企業・その他
申告者	フリガナ：
	氏 名：
	会員番号：
連絡先電話番号	

※本健康状態申告書は第 63 回日本神経学会学術大会の現地開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として参加者の健康状態を確認することを目的としています。

※ご記入いただいた個人情報は、参加者の健康状態の把握、来場参加可否の判断および必要な連絡のために使用いたします。法令において認められた場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。